

「東北アジアの平和と日朝国交正常化」(2007年10月3日)

六カ国協議をめぐる状況と今後の展望

李鍾元 (立教大学)

1. 六カ国協議： 「半分の進展」
 - 1) 当初の楽観論： 順調な作業部会／ 無能力化調査チーム
 - 2) 「暫定合意」と休会
 - 3) 「次の段階」の構図
 - ① 核施設の無能力化： 様々な段階・方法／ 核廃棄との関係
 - ② 核プログラムの申告： 濃縮ウラン計画 (UEP) ／ 抽出したプルトニウム
 - ③ エネルギー支援
 - ④ テロ支援国家指定の解除
2. 「暫定合意文」： 本格的な交渉の先送り／ そのための信頼醸成段階
 - 1) 「次の段階」の分割： 「年内」／ 来年以降
 - 2) 無能力化： 「一年程度」／ 核心部品の国内保管・国際管理
 - 3) 申告： UEP ／ プルトニウムは先送り
 - 4) エネルギー支援： 40万トンの重油／ 45万トンのその他のエネルギー
 - 5) テロ支援国家指定解除： 「米朝合意の尊重」／ 期限の間接的な明示
 - 6) 「年内」に無能力化の最初の段階を進めつつ、「一年」以内に最終段階の交渉
3. 「次の最大の争点」： テロ支援国家指定の解除
 - 1) 休会： 日米の調整／ 日朝交渉への配慮？
 - 2) 解除の三条件 (チャ)： 大韓航空機爆破事件／よど号／「拉致への対処」
 - 3) 「次の段階」の切り札
 - 4) アメリカの安倍政権への「圧力」
 - 5) 福田政権による打開への「期待」？
 - 6) 北朝鮮の方針転換の示唆
 - 7) 拉致問題： アメリカによる事実上の「仲裁」
4. 今後の展望
 - 1) 「次の段階」の開始
 - 2) 「大きな外交」の季節： 六カ国の外相会談
 - 3) 朝鮮半島の平和体制： 南北米中／ 南北の「平和宣言」
米国 **Atlantic Council** の朝鮮半島平和体制報告書 (2007年4月)
 - 4) 朝鮮半島 (北東アジア) の冷戦構造の解体： 2・3・4・6
5. 日本の朝鮮半島 (北東アジア) 外交戦略はあるのか： 重層的な課題の同時進行
 - 1) 朝鮮半島の冷戦構造の解体
 - 2) 地政学な対立構図の克服： 「新冷戦」
 - 3) 東アジア共同体 (地域協力) への動き